

## CP オール (CPALLn)

### カンボジアに7-Elevenの1号店開店。Siam Makroがスーパーのロータスを完全子会社して売り場をデジタル化 タイ | 食品・医薬品小売 | 業績フォロー

BLOOMBERG CPALL:TB | REUTERS CPALL.BK

- 2021/12期2Q(4-6月)は、売上高が前年同期比7.5%増、EBITDAが同9.9%増。一方、純利益は借入金増に伴う費用増が響き同24.1%減。
- カンボジアの首都プノンペンに7-Elevenの同国1号店を出店。年内にラオスでも同国1号店の計画など、高成長の周辺新興国を開拓中。
- Siam Makroが店舗数で約15倍のスーパーのロータスを完全子会社化の方針。「スキャン&ゴー」など売り場のデジタル化で再生を目指す。

#### What is the news?

8/11発表の2021/12期2Q(4-6月)は、売上高が前年同期比7.5%増の1,376.75億THB、EBITDAが同9.9%増の115.17億THB、純利益が同24.1%減の21.90億THBだった。2Q末のコンビニ店舗数が前期末比311店増の12,743店へ拡大したほか、コロナ禍への対応としてネットを活用して実店舗への集客を促すO2O戦略を推進したことが功を奏して既存店売上高前年同期比2.1%増となったことが増収に貢献した。利益面では、既存の経営資源の有効活用を図ることで売上高販管費率を0.4ポイント引き下げて19.9%としたこと、およびキャッシュ&キャリア事業も増収増益と堅調に推移したことがEBITDA増益に寄与した。

一方で、固定金利の無担保社債を発行することにより、満期前に金融機関からの借入金を返済するとともに借入金の増加により金融費用が高んだことが響いて最終減益となった。

2Qのセグメント別の業績は次の通り。①コンビニエンスストア事業は、総売上高が前年同期比6.6%増の749.71億THB、税引前利益が同16.4%減の45.38億THB。②「Siam Makro」のブランド下で展開するキャッシュ&キャリア事業は、総売上高が同7.1%増の547.23億THB、税引前利益が同15.5%増の15.68億THB。③その他事業は、総売上高が同19.5%増の127.03億THB、税引前利益が同16.8%減の8.52億THB。

#### How do we view this?

2021/12通期の会社計画は、新規開店700店により店舗数13,000店突破であり、設備投資計画は115-120億THBと従来計画を据え置いた。8/30、セブンイレブンの初の国外展開となるカンボジアの首都プノンペンにセブンイレブンの1号店を出店した。年内にラオスでも同国1号店を開く計画もあり、高い経済成長が続く周辺新興国の開拓を急ぐ方針だ。

キャッシュ&キャリア事業のSiam Makroは最大63億株を新株発行して2020年にCPグループが買収したスーパーのロータス(旧テスコ)を完全子会社化する方針。ロータスはタイとマレーシアで約2,100店舗を保有し、Siam Markoの店舗数の約15倍に上る。CPグループはネット通販専業に対抗して、スマホでバーコードを読み取って購入して指定した時間に自宅に商品が届く「スキャン&ゴー」のほか、様々なDX(デジタル化)をロータスの売り場に導入することで再生を図る戦略を描いている。

#### 業績推移

※参考レート 1THB=3.38円

事業年度	2018/12	2019/12	2020/12	2021/12F	2022/12F
売上高(百万THB)	508,212	550,900	525,884	538,571	584,341
当期利益(百万THB)	20,929	22,343	16,102	11,968	17,734
EPS(THB)	2.22	2.38	1.79	1.31	1.95
PER(倍)	28.15	26.26	34.92	47.71	32.05
BPS(THB)	9.44	10.44	10.77	11.15	12.11
PBR(倍)	6.62	5.99	5.80	5.61	5.16
配当(THB)	1.20	1.25	0.90	0.76	1.03
配当利回り(%)	1.92	2.00	1.44	1.22	1.64

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(THB)	0.76	(予想はBloomberg)
終値(THB)	62.50	2021/9/6

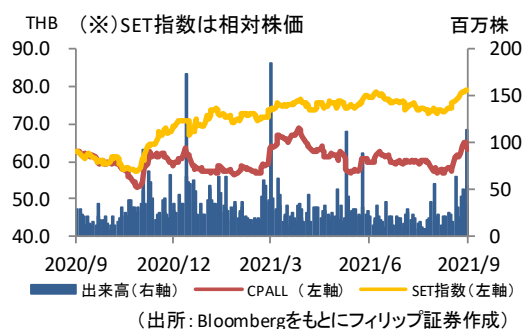
#### 会社概要

1988年にタイ最大のコングロマリットであるチャルーン・ポーカバン(CP)グループにより設立。タイ唯一のセブンイレブン運営事業者。1989年に米国のセブンイレブンとエリアライセンス契約を締結。①コンビニエンスストア事業のほか、②「Siam Makro」ブランドのキャッシュ&キャリア事業、および③その他事業(後払い支払いサービス、冷凍食品のプラントおよびペーカリー、並びに小売設備と教育サービスの提供を含む)を展開している。

2021年6月末時点で、タイ国内で12,743店舗を展開。その内、1,866店舗がタイ石油公社(PTT)のガソリンスタンド併設のPTTを加盟店とする店舗である。バンコク周辺には5,541店舗、地方には7,202店舗がある。運営形態では、直営が5,934店舗、店舗事業パートナー(SBP)およびサブライセンスが6,809店舗である。

#### 企業データ(2021/9/7)

ベータ値	0.82
時価総額(百万THB)	561,444
企業価値=EV(百万THB)	843,798
3か月平均売買代金(百万THB)	1,465.5



#### 主要株主(2021/9)

1. CP MERCHANDISING CO LTD	31.08
2. STOCK EXCHANGE OF THAILAND	8.83
3. ステート・ストリート	4.16

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

#### リサーチ部

笹木 和弘  
 +81 3 3666 6980  
 kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

**【レポートにおける免責・注意事項】**

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 4 番 2 号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。